

## ナシ新品種‘凜夏(りんか)’、 ‘甘太(かんた)’の品種特性



写真1 ‘凜夏(りんか)’  
(♀(豊水×おさ二十世紀)×♂あきあかり)



写真2 ‘甘太(かんた)’  
(♀王秋×♂あきづき)

表 ‘凜夏’、‘甘太’の特性

| 品種名    | 開花   |      | 収穫<br>盛期 | 果実重<br>(g) | 糖度計<br>示度 | pH  | 硬度<br>(lbs) | みつ症 | 裂果 |
|--------|------|------|----------|------------|-----------|-----|-------------|-----|----|
|        | 始期   | 盛期   |          |            |           |     |             |     |    |
| 凜夏     | 4月2日 | 4月7日 | 8月11日    | 396        | 12.2      | 5.0 | 4.4         | 無   | 無  |
| 幸水(対照) | 4月5日 | 4月9日 | 8月8日     | 325        | 10.8      | 5.3 | 5.6         | 無   | 無  |
| 甘太     | 4月2日 | 4月6日 | 10月12日   | 494        | 15.1      | 5.0 | 4.5         | 無   | 無  |
| 新高(対照) | 4月1日 | 4月5日 | 10月2日    | 650        | 13.4      | 5.3 | 6.6         | 少   | 有  |

※月日、数字は果樹試験場での2009年～2013年の平均値。みつ症の発生は無、少、多の3段階、裂果は無、有を遠観で判定。

‘凜夏’と‘甘太’は独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所で育成されたナシの新しい品種です。高知県においても平成20年度から系統適応性試験を行っていますので、その特性について紹介します。

両品種とも、夏秋期の気象条件で多発するみつ症や裂果の発生も無く有望な品種と考えられます。

‘凜夏’は‘幸水’に比べ開花期はやや早く、収穫盛期は同等かやや遅い早生の赤ナシ品種です。果実は‘幸水’より大きく、糖度は高く、果肉の硬度は低く、歯触り良くジューシーです(表)。また、‘凜夏’は暖冬年でも花芽の芽枯れが‘幸水’に比べて少なく(データ略)、「異常なく凜として力強く生育・開花し、夏に収穫される」ことからこの品種名がつけられました。

‘甘太’は‘新高’に比べ、開花期はほ

ぼ同じですが、収穫盛期は遅い晩生の品種です。果実は‘新高’より小さいですが、糖度は高く、わずかに酸味があり、果肉の硬度が低いので、ジューシーな食感と濃厚な味わいがあります(表)。「甘くて果実が太い」ことからこの品種名がつけられました。

しかし、‘凜夏’では果実にスジが入る変形果の発生が多く、‘甘太’では果面のサビがマダラ模様が発生することや収穫適期の判断が難しいなどの問題が残っています。今までは立木栽培で果実の特性をみてきましたが、今後は平棚栽培にし、これらの問題が改善できるか検討を行っていきます。また、温暖化により休眠不足になる恐れがないか、休眠特性も検討していく予定です。

なお、両品種とも苗木の流通は数年後からになります。

(果樹試験場 西本年伸 088-844-1120)